

## 二十四節季

二十四節季とは、節分を基に一年を24等分して、およそ15日ごとに季節を分けた我が国古来の生活指標とでもいうべきものです。

一月	(睦月／むつき)		
	<b>小寒</b> (しょうかん)	1月6日ごろ	木枯らしが吹き寒さが厳しい。
	<b>大寒</b> (だいかん)	1月20日ごろ	一年を通して最も寒い時季。
二月	(如月／きさらぎ)		
	<b>立春</b> (りっしゅん)	2月4日ごろ	節分の翌日で一年の始まり。
	<b>雨水</b> (うすい)	2月18日ごろ	寒さが緩み雪が解けて雨に変わる。
三月	(弥生／やよい)		
	<b>啓蟄</b> (けいちつ)	3月5日ごろ	虫が冬眠から目覚めて動き出す。
	<b>春分</b> (しゅんぶん)	3月20日ごろ	昼夜の長さが同じ。花が咲き始める。
四月	(卯月／うづき)		
	<b>清明</b> (せいめい)	4月5日ごろ	草木が芽吹いて明るく美しい季節。
	<b>穀雨</b> (こくう)	4月20日ごろ	雨が降り穀物が育つ。
五月	(皐月／さつき)		
	<b>立夏</b> (りっか)	5月5日ごろ	夏の始まり。さわやかな初夏の季節。
	<b>小満</b> (しょうまん)	5月21日ごろ	生命を得た万物が成長する。
六月	(水無月／みなづき)		
	<b>芒種</b> (ぼうしゅ)	6月5日ごろ	田植えの時期。
	<b>夏至</b> (げし)	6月21日ごろ	日中が一年中で最も長い日。
七月	(文月／ふみづき)		
	<b>小暑</b> (しょうしょ)	7月7日ごろ	梅雨が明けて暑さが厳しくなる。
	<b>大暑</b> (たいしょ)	7月23日ごろ	最も暑い時期。
八月	(葉月／はづき)		
	<b>立秋</b> (りっしゅう)	8月7日ごろ	秋の季節の始まり。この日から残暑。
	<b>処暑</b> (しょしょ)	8月23日ごろ	暑さが収まりしのぎやすくなる。
九月	(長月／ながづき)		
	<b>白露</b> (はくろ)	9月7日ごろ	朝露が降りて本格的な秋となる。
	<b>秋分</b> (しゅうぶん)	9月23日ごろ	昼夜の長さが同じ。朝晩が涼しい。
十月	(神無月／かんなづき)		
	<b>寒露</b> (かんろ)	10月8日ごろ	木々が色づき穀物収穫の時期。
	<b>霜降</b> (そうこう)	10月23日ごろ	秋が終わり霜が降りるようになる。
十一月	(霜月／しもづき)		
	<b>立冬</b> (りっとう)	11月7日ごろ	冬の始まり。寒くなってくる。
	<b>小雪</b> (しょうせつ)	11月22日ごろ	雨が雪に変わる。
十二月	(師走／師走)		
	<b>大雪</b> (たいせつ)	12月7日ごろ	本格的なゆきの季節が始まる。
	<b>冬至</b> (とうじ)	12月22日ごろ	一年中で最も日中が短い時季。